

2021 年度教員免許状更新講習（選択科目）のご案内

1. 日程： 2021 年 8 月 19 日（木）～21 日（土） 時間は 9：00～17：00 を予定

2. 教員免許更新制度について

教員免許更新制は、その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

教員免許状を有効な状態で保持するためには、有効期間満了日または修了確認期限の 2 年 2 か月前から 2 か月前までの 2 年間に、30 時間以上（必修 6 時間以上、選択必修 6 時間以上、選択 18 時間以上）の更新講習を受講・修了した後、免許管理者（都道府県教育委員会）に申請する必要があります。更新制度の内容については、文部科学省ホームページをご確認ください。

※文部科学省 HP：https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

3. 受講対象者（一部抜粋）： ※詳細は文部科学省 HP にてご確認ください

更新講習の受講対象者（講習を受講できる者）は、普通免許状又は特別免許状を有する者で、以下に該当する方です。

- ①現職教員（校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く）
- ②実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
- ③教育長、指導主事、社会教育主事、教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
- ④③に準ずる者として免許管理者が定める者
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
- ⑥教員採用内定者
- ⑦教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登載されている者
- ⑧過去に教員として勤務した経験のある者

4. 有効期間の満了日、若しくは最初の修了確認期限について

- 免許更新の具体的な流れについては、文部科学省 HP に掲載されていますので確認してください。
- 新免許状所持者の方は、所持している免許状に記載されている有効期間満了日を確認してください。
有効期間の異なる複数の免許状を所持している場合は、自動的にその最も遅く満了する日が全ての免許状の有効期間満了日となります。
- 旧免許状所持者の方は、文部科学省 HP より修了確認期限がチェックできます。修了確認期限をチェックし、受講対象者であることを確認してください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

5. 証明について：

受講対象者は、受講申込の際に、勤務する学校の校長、その者を雇用しようとする者または臨時任用（または非常勤）教員リストを作成している教育委員会などによる受講対象者であることの証明が必要になります。

6. 講習プログラム：

講習名称・ 開催日・人数・受講料	講習の概要	担当講師
<p>【選択】3DCADおよび3Dプリンタを活用したものづくり</p> <p>開催日：8月19日(木) 定員：20人(先着順) 受講料：10,000円</p>	<p>子供達は絵を書いたり、立体的に組立て動いたり光ったり音が鳴ったりと複雑に変化するものを作っています。制作過程において、コンピュータを活用することにより、思いもしなかった物を創造できるようになります。この講習では、プログラミング基礎として画像や立体を作成、表現するプログラミング技術を習得します。また、ソフトウェアによる図面作成から設計およびモデリングに至るものづくりの事例としてコンピュータと3Dプリンタを連携してもものづくりの最先端技術を体験してもらいます。コンピュータの活用によるものづくりの多様性を解説いたします。子供達の創造的なものづくりの可能性を育てたいとお考えの先生方の受講を歓迎します。</p>	<p>(技能工芸学部 総合機械学科) 松本 宏行 教授 堀内 勉 教授</p>
<p>【選択】STEAM：プログラミング授業</p> <p>開催日：8月20日(金) 定員：20人(先着順) 受講料：12,000円</p>	<p>プログラミング学習において、アートワークと組み合わせることで教えやすく学びやすいと考えます。教科横断型によるプログラミング授業の一例として、美術と技術とを組み合わせアートワークとプログラミングを行い、LEDやモータ等を組み合わせながら作品制作をします。そしてプログラミングにより作品の表現を増し、最後に受講者間の作品を協調させていきます。ツールとしてプログラミング学習では、Micro:bitとビジュアルプログラミング言語のMakeCodeを、アートワークで取り付けしたLEDやモータを制御する為の外部装置として、埼玉県・長野県の中高大連携で開発したオリジナル教材(オープンハードウェア)を使用します。</p>	<p>(技能工芸学部 総合機械学科) 永井 孝 准教授</p>
<p>【選択】木造住宅の耐震・耐風性能及び構造実験</p> <p>開催日：8月21日(土) 定員：20人(先着順) 受講料：12,000円</p>	<p>木造住宅は、地震による揺れや台風による風力に対して、どのような構造にすれば良いのかは、中・高校生にとって大変難しい課題です。そこで、実際の地震や台風がいかに関物に作用し、どのように変形し破壊に至るのか、写真や図などの具体的な事例で概説します。また壁の構造が強度性能にどのように影響するのかを実体験して頂くため、受講者の皆様に実大試験体を製作して頂き強度実験を行います。受講修了後には、テキスト教材や実験に関する画像データを、中・高校生が木造住宅の強度性能に係る壁の影響を視覚的・聴覚的に実体験できる教材として活用できると考えています。中学校・高等学校で建築系の授業を担当される先生の受講を歓迎します。</p>	<p>(技能工芸学部 建設学科) 小野 泰 教授</p>

7. 受講料：10,000～12,000円(6.講習プログラムの各受講料を参照のこと)

各講習プログラムの1日分の受講料です。複数の講習プログラムを受講する場合は、それぞれの受講料がかかります。

8. 申込期間及び手続の方法：2021年5月17日（月）～7月16日（金）（消印有効）(1) **受講者→大学**：

「2021年度ものづくり大学免許状更新講習受講申込書」を本学ホームページからダウンロードするか、郵送にて受講申込書を請求してください。なお、郵送による請求の場合、郵送料は申込者をご負担ください。

「2021年度ものづくり大学免許状更新講習受講申込書」に必要事項を記入の上、上記期間内に申込書を郵送してください。

【受講申込書 請求先および受付先】

※受講申込書請求の場合は、返信用封筒（角形2号）に住所・氏名を記入し、140円分の切手を貼ったうえで同封してください。

〒361-0038

埼玉県行田市前谷 333 番地 ものづくり大学 学務部教務課 教務係 宛

（受講申込書請求の場合：封筒の表書きに「**教員免許状更新講習 申込書請求**」と朱書してください。）（受講申込の場合：封筒の表書きに「**教員免許状更新講習 受講申込書在中**」と朱書してください。）(2) **大学→受講者**：

受講受付が完了した方に、受付完了通知と受講料振り込みのご案内を郵送致します。

(3) **受講者→大学**：

振り込みのご案内に従って、所定の口座に受講料を振り込んでください。

受講料の振り込み期限は、7月30日（金）です。期限までに振り込みがなされない場合は、キャンセルとみなします。振込手数料は申込者をご負担ください。

(4) **大学→受講者**：

振り込みが確認できれば、受講者として確定した旨の通知を致します。（メールでの通知）

9. 会場及びアクセス：

ものづくり大学キャンパス

所在地 〒361-0038 埼玉県行田市前谷 333 番地

詳細は、本学ホームページのアクセス <http://www.iot.ac.jp/guide/access/> をご覧ください。

※自家用車での来学も可能です（事前連絡要）。

10. コロナウイルス感染症に対する対応について：

講習は対面形式で行いますが、コロナウイルス感染予防として密閉・密集・密接といった3つの密を避けて、座席を分散するなどの対応で行います。

受講者の皆様には、受講前の検温等の健康確認と、受講時の手指洗浄・消毒、マスク着用のご協力をお願いいたします。学生食堂の利用はご遠慮いただき、昼食は各自でご用意ください。

11. お問い合わせ先： 教務課教務係 Tel：048-564-3200 平日9：00～17：00

（8月12日～8月18日は大学のカレンダー上、休日とさせていただきます）

E-mail：kyomu@iot.ac.jp本学ホームページ：<http://www.iot.ac.jp/>